

発行者：社会福祉法人東京援護協会  
中村橋福祉ケアセンター

〒176-0021

東京都練馬区貫井1-9-1

TEL 03-6904-0144 (生活介護事業)

03-6904-0145 (中途障害者通所事業)

FAX 03-6904-0140 (共通)



## あいさつ ご挨拶

春寒もようやく和らぎ、日ごとに春の訪れを感じる季節となりました。3月は卒業や旅立ちの季節でもあり、新たな門出を迎える方々にとっては希望に満ちた時期でもあります。練馬区立心身障害者福祉センターも、4月からは「社会福祉法人東京援護協会」が指定管理法人となり、名称が「練馬区立中村橋福祉ケアセンター」に統一され、新しいスタートを迎えます。新しい取り組みもチャレンジしていきますので、今後とも「中村橋福祉ケアセンター」をよろしくお願いたします。

施設長 今井 克



大規模改修後の建物で気持ちも新たに中村橋マルシェを開催しました。多くの方に足を運んでいただきありがとうございます。職員一同御礼申し上げます。天窗から明るい日差しが入るホールには、当法人内の複数の施設から取り寄せた、自主生産品の美味しそうなお菓子や可愛い雑貨がたくさん並び、にぎやかな声が響きました。ゲームコーナーも大盛況でした。



普段の生活や訓練では体験出来ない接客・販売にも挑戦。はじめは緊張していた利用者も次第に「いらっしゃいませ」と大きな声で商品の魅力をアピールしました。生き生きと接客する姿は職員にとっても印象的な場面となりました。お客様の中には「昨年購入したレタスが美味しかったので今年も来ました」という方もいらっしゃいました。次の機会には更に多くの商品を取り揃えてお待ちしております。

今後の開催もお楽しみに。





# ちゅうとしょうがいしゃつうしょじぎょう 中途障害者通所事業

こうじのうきのうしょうがいとう  
高次脳機能障害等

じりつくねん きのうくねん せいかつくねん ちいきかつどうしえん  
自立訓練(機能訓練・生活訓練)・地域活動支援センター



こんかい なかむらばし む おこな くねん かつどうないよう ほうこく  
今回は中村橋マルシェに向けて行った訓練・活動内容を報告します



## 自立訓練 OT訓練室より『装飾つくり』

すいこうきのうこうじょう めざ  
遂行機能向上を目指して

おがみ で 6つのパーツからなる雪の結晶を作りました。

- ①折り紙を三角に折る。
- ②三角の折り目と並行に切り込みを入れる。
- ③開いて、切込み部分を丸めてボンドで貼る。

この何気ない動作の中には、計画性、注意・集中力、そして空間認知力が入っています。これらの訓練要素は、日常生活に重要となる遂行機能を高める内容となっています。

6個のパーツで雪の結晶に



## 地活 活動室より『看板つくり』

「中村橋マルシェ」の文字は地域活動支援センター(通称:地活)の

利用者が書いたものです。習字が得意な方とレイアウトが得意な自立訓練

利用者との合作看板です。お互いの強みを活かした作品となりました。



## 販売担当 『完売を目指して』

会話力を高める

商品の魅力を考え、それを言葉にして表現することは、語彙や表現の幅を広げ、説明力を高める言語訓練としてとても効果的です。

また「相手に伝わる言い方」を意識することで、社会性に必要な表現力や、相手との視点を想像する力の向上にもつながります。



## お知らせ

### コービーサロン

このサロンは高次脳機能障害のある方がおしゃべりや情報交換・仲間作りができるなど“誰もが気軽に立ち寄れる集いの場”です。毎月第一水曜日開催しています。だんだんや地域活動支援センターの卒業生を中心に開催しています。



今後の開催予定日: 4/1・5/13・6/3・7/8

時間: 13:30~15:00

場所: 交流室

参加希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい

(TEL:03-6904-0145)

年間予定はホームページをご覧ください

# せいかつかいごじぎょう 生活介護事業



## はたちいわかい 二十歳を祝う会



1月16日(金)快晴の空の下、二十歳を祝う会を開催しました。今年は1名の方が二十歳を迎えられ、晴れの門出をみんなでお祝いしました。卒業校の先生や放課後等デイサービスの看護師からのお祝い動画の披露に続き、仲間からのメッセージ、利用者・職員が歌とダンスをプレゼントしました。ご家族からの温かいお祝いの言葉も寄せられ、会場は祝福の雰囲気にも包まれました。主賓の方のこれからの歩みを皆で見守り、センターらしいあたたかく盛大な祝賀会となりました。



## さいばい きのこ栽培



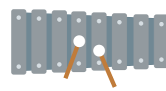
椎茸のかんたん栽培を活動で行いました。愛着を持って育てるために、利用者の皆様が「もこちゃん」と「コスモスちゃん」と2つの名前を決め、毎日霧吹きで声を掛けながら水やりをしました。その甲斐あってしっかりとしいたけが育ちました。成長の変化を毎日観察でき、収穫時には達成感もありました。持ち帰りした椎茸は各ご家庭で調理して、美味しかったと好評でした。気軽に楽しめる栽培としてとても良い体験になりました。



## ねんどまつかい 年度末会



3月24日、25日の2日間で今年度の締めくくりとして、年度末会を行いました。曲に合わせての振り付けや楽器演奏、指スイッチを用いてハンドサッカーのゴールを披露するなど、利用者の皆様の得意なことや好きなことを活かし、一人ひとりにスポットをあてて発表しました。本番で自分らしさが出せるよう練習をし、当日に向けて少しずつ準備を進めた結果、皆様の最高のパフォーマンスに会場は大喝采！みんなで力を合わせて、楽しく思い出に残る会になりました。



# 練馬区高次脳機能障害者支援協議会

# 事例検討会

講師：東京都立豊島病院 リハビリテーション科 部長 中島英樹 先生

3月6日、東京高次脳機能障害者支援ホームにて区内の病院・基幹相談センター・地域包括支援センター・就労支援事業・当事者・家族等が参加しグループワークを通して「顔の見える関係づくり、病院退院・施設退所時のサービス調整を考える」をテーマに学び合いました。

事例：40代男性

障害名：高次脳機能障害 体幹機能障害  
(大学時代の交通外傷による両下肢)

診断名：肺炎による廃用症候群  
(R6.1月インフルエンザ罹患)  
※介護保険利用対象外

## 参加者の感想

- 交通外傷の事例でサービスが障害福祉のみ適用となるため、気づきが多かった。
- もっと高次脳機能障害に関する支援施設が増えるといい。
- 最後に当事者の方が登壇され、貴重な学びとなった

## 防災委員

3月5日ビル管理会社と防災設備会社から、非常時に区民センター内の設備がどのように機能するかの説明を受けました。訓練等で全職員への周知を図ります。現在医療的ケアが必要な方が通う生活介護事業では、災害時にも医療機器を継続して使用できるように、大型蓄電池を導入し、中途障害者通所事業では災害時の備えを強化するため、備蓄品の見直しを行い、体温維持に配慮した非常食などを追加しました。



大型蓄電池



備蓄品

## 春の音楽祭

3月13日、区民センター1階ホールにて「春の音楽祭」を開催しました。練馬文化センターの派遣演奏家による、ソプラノ、ヴァイオリン、ピアノのトリオが、美しい春の調べを届けてくれました。会場には利用者のほか、ご家族、障害児保育園の園児やスタッフが集まり、区民センターを訪れた地域の方々も思わず足を止めて耳を傾ける姿が見られました。温かな音色に包まれ、世代や立場を超えて心が通い合う、穏やかで一体感に包まれるひとときとなりました。



## 編集後記

今年度最後の広報誌となりました。春の訪れとともに、もうすぐ新たな年度が始まります。来年度も、変わらぬご支援と活動へのご協力を引き続きお願い申し上げます。